

J E M A S 2026年2月セミナー

～H P改ざんや電子メールによる犯罪、S N Sの悪用に如何に対処するか～

新年を迎えてから、早くも一か月がたちました。今年はトランプ大統領によるベネズエラ大統領の拉致、グリーンランドの買収宣言とドンロー主義から始まり、継続しているウクライナ問題、ガザから始まった中東問題、中国の今後等予断を許さない局面が続きそうです。国内では高市政権による総選挙と物価対策でガソリンや軽油の減税等が進められています。この中で地球温暖化問題や生物多様性確保、廃プラによる環境破壊問題等への取組に対して国内だけでなく、主要国間での真剣な議論が影をひそめる方向になってきたのが気がかりです。

一方、I T技術の進歩はとどまることが無く、ビジネス面でも我々の生活面でもこの分野なくしては成り立たなくなっていました。しかし、この分野の影の面として、ランサムウェアによるH P改ざん等はアサヒビール等での事例のみならず数多く企業や公的機関での被害がニュースになっています。加えて、S N Sの普及はフェイクニュースやとこれによるデータや写真の改ざんが大きな社会問題となっています。さらに、メールやスマホを用いての詐欺犯罪も非常に多くなっており、メールに内在する可能性のあるウィルスと併せて絶えず注意が求められています。

今や I Tリテラシーなくしては現在の社会で安全に過ごすことができないといえましょう。

今回の講師には、I Tを用いた各種犯罪防止や関連する情報をどのように判断したらよいか、併せてこの分野でのトラブルや犯罪防止、啓発活動、日本政府の取組に関して、企業内や一般市民を対象に精力的に啓発活動に取り組んでおられる網倉麻古様を講師にお迎えし、最近の犯罪やトラブル及び被害事例、これらに巻き込まれないために我々は何をすべきかをお話しいただきます。

併せてご参加の皆様と日ごろのご不安に感じている点や予防策を含めて、意見交換を行いたいと思っています。今回のセミナーは、z o o mにより開催します。

日 時： 2026年(令和8年) 2月 22日(日) 14:00～16:00

ZoomへのアクセスURLは参加申込者に、2～3日前に担当理事から連絡します。

講演テーマ サイバーセキュリティを確保するため我々に求められること

犯罪等の事例紹介、被害にあった時の有形無形の被害の大きさ、防御策

講師 (株)テクノ菱和 技術本部システム室 デジタル推進委員

網倉 麻古 様

質疑応答および意見交換は講演時間に含みます

主 催：N P O 法人 日本環境管理監査人協会 (J E M A S)

お申し込み：以下の事項を記入し、メールにてご送付ください。参加費は無料です。

申し込み期限は令和8年2月16日(月)24時としますので厳守ください。

講演資料ですが、J E M A S会員を対象に講演会の数日前にJ E M A SのH Pの会員専用欄にアップします。

会員外の方で資料ご希望の方はセミナー受付係に連絡ください。2000円でお分けいたします。

非会員の方は是非この機会に是非ご入会ください(年会費8000円、入会費はなし)。

J E M A SのH Pは以下の通りです。 <http://jemas.net>

セミナー申し込み先 受付はセミナー受付係宛 Eメール：fukoyama@east.cts.ne.jp

①参加者御氏名

②ご所属(お差支えのない場合)

③連絡先のmail address